



CAREER
DESIGN

04

大学で得た知識を生かしたい 新製品を開発し、世に広めたい

水道の混合栓を 開発・設計

大学で学んだ機械工学を生かしながら、「ものづくりの現場で開発や設計に携わりたい」と思い、水栓金具メーカーに就職しました。現在は、各務原市の岐阜工場にあるものづくり本部研究部で、基礎研究を重ねながら、新たな商品の開発に関わっています。具体的には、キッチンや洗面台などにある水道のシングルレバー混合栓内にある機構部品を主に担当しています。湯と水の配分や水量を調整する部品で、蛇口のレバーを上下すると、湯水を出したり、湯と水に分けたりすることができず、蛇口の内部にあるセラミック製のシール材が動くことで、湯水を調整しています。また、蛇口の加飾や塗装など、装飾を加えたり、色をつけたりする提案も考えています。商品の品質と性能をクリアできるように、常に心掛けています。

使い心地の良い商品を 提案

近年では、センサーで反応するタイプも増えています。節水を調節できるようにしたり、デザイン性も高めたり、従来の技術を組み合わせながら、今まではなく、使う人にとって使い心地が良い商品を世

に出せるように努めています。また、商品や部品をホームセンターで目にしたたり、実際に設置しているところなどでうまく動いているのを見たりすると、自分が携わった商品がお役に立ち、うれしい気持ちと同時に誇りを持っている仕事と感じます。

各務原で商品開発、 全国へ発信

これまで、商品開発は大阪で行われていましたが、2007(平成19)年から岐阜工場ですべて集約されました。部品を製造していただいているメーカーの協力工場もこの地域に多くあります。商品開発や製造といったものづくりを通して、岐阜・各務原の地から全国に向けて発信しているという自負もありません。

ものづくりの基本は 「原理原則」

ものづくりは「原理原則」が基本で、全てはここから始まり、いろいろな応用につながっていきます。水道の蛇口も時代とともに変化し、進化を遂げています。従来はなかった技術を取り入れながら、新しい形の製品を世の中に広げたいです。



藤原 昌憲 さん

大垣市出身。中部大学工学部機械工学科卒業。1999(平成11)年4月入社。岐阜工場にあるものづくり本部研究部基礎研究課チーフエンジニアとして、水道のシングルレバー混合栓などの商品開発に携わる。

株式会社三栄水栓製作所 岐阜工場

[HP] <http://www.san-ei-web.co.jp>

〒509-0145
各務原市鶏沼朝日町
1丁目136番4号
TEL.058-384-9988

【事業内容】水栓金具、単水栓、湯水混合栓、シャワー、水栓バルブ、各種接手、配管部品、トイレ部品、ボールタップ、排水器具、バス用部品、浴室・トイレアクセサリ、散水器具類等の製造販売
【設 立】1954(昭和29)年9月
【資 本 金】9,800万円 【従 業 員】694人